

第 10 産業 経 済

第 10 産 業 経 済

群馬県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らいでいく中で、若干持ち直しつつあるが、県内中小企業の経営は、原材料・エネルギー価格等の高騰や供給面での制約により、依然として厳しい状況に置かれている。

産業経済部では、長引くコロナ禍に加え、原油価格・物価高騰等により影響を受けている事業者を支援するため、商工団体や金融機関等と連携し、制度融資による資金繰り支援、新ぐんまチャレンジ支援金の支給、ストップコロナ！対策認定制度の実施など、県内企業の事業継続や前向きな取組への支援を実施するとともに、宿泊料金の割引などを行う愛郷ぐんまプロジェクトにより、観光需要を喚起した。

また、未来に向けた新たな産業への取組として、ぐんま未来産業アドバイザーボードの開催、G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の開催に向けた準備を実施するとともに、経営資金から販路開拓まで総合的な地域企業支援に取り組む等、群馬県経済を牽引する産業への支援を実施した。

さらに、近未来構想の実現に向け、tsukurun を拠点とした小中高生向けのクリエイティブ人材育成、映像クリエイティブ拠点化に取り組むとともに、心と体をリセットするリトリートの聖地とするための観光施策を行った。

【令和4年度の重点施策及び主な取組】

- 1 長引くコロナ禍や物価高騰等で影響を受けた既存産業の立て直し
 - ・新ぐんまチャレンジ支援金
 - ・愛郷ぐんまプロジェクト
 - ・ストップコロナ！対策認定制度
- 2 未来に向けた新たな産業への取組
 - ・ぐんま未来産業アドバイザーボードの開催
 - ・G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の開催準備
 - ・デジタルイノベーションの加速化
- 3 群馬県経済を牽引する産業への一層の支援
 - ・経営資金から販路開拓まで総合的な地域企業支援
 - ・次世代モビリティ産業参入支援
- 4 近未来構想の実現に向けた事業の推進
 - ・tsukurun を拠点とした小中高生向けのクリエイティブ人材の育成及び映像クリエイティブ拠点化
 - ・心と体をリセットするリトリート聖地化のための観光施策
 - ・企業立地エリア災害レジリエンス実証

1 産業政策費

(1) 社会参加費

決算額

342 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聞き県政に反映するとともに、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等を支出した。

所 属 数	金 額
産 業 経 済 部 7 課 6 所	342 千円

(2) 産業政策企画推進

決算額

37,012 千円

① 産業情報収集・産業振興基本計画推進・サポートガイド作成

ア 経済産業省等の発表資料や、県内中小企業・関係団体に関わる情報を収集、分析し、県内経済の状況を把握したほか、県内中小企業の経営実態や将来の見通し等を把握するため、経済団体(中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会)等と協力して、アンケート調査を実施した。

イ 県や国等の中小企業支援施策、制度を網羅した「企業サポートガイド」を作成した。

② 次代を見据えた産業構造の強化

群馬県産業の将来性と産業政策の方向性を総合的に検討する有識者会議「ぐんま未来産業アドバイザーボード」を開催(全5回)した。

「デジタルイノベーション」、「自動車産業」をテーマとして、持続的に発展できる産業構造、一人当たり県民所得の向上を実現していくための未来産業の姿、新たな産業政策モデルを「ぐんま未来産業アドバイザーボード報告書」として取りまとめた。

③ SDGs 推進

産学官金連携の下、県内企業のSDGsへの取り組みを推進するぐんまSDGs推進ネットワークに対して、負担金を支出し、SDGsを経営戦略として活用する企業の増加や持続可能な経営への転換を促すための普及啓発や情報発信を実施した。

区 分	参 加 者
普及啓発(群馬県中小企業SDGs始動事業)	43 団体
情報発信(SDGsぐんまビジネスプラクティス紹介団体)	44

④ 教育イノベーションプロジェクト

ア 自由な発想育成プロジェクト

地元ぐんまに誇りを持ち、突出した才能・アイデアを持つ「将来の始動人」を輩出することを目的とした事業を実施した。

区 分	事業内容	実績
始動人 Jr. キャンプ	中高生を対象に地域課題解決型の教育プログラムの実施(プログラム日数:7日間)	参加者数 24 名
始動人 Jr. フューチャーセッション	各分野で活躍する中高生たちが、自慢の技を披露し群馬の未来を語るオンラインイベント	視聴者数 460 名 アーカイブ再生回数 1,800 回
始動人 Jr. インキュベーション	社会課題を解決するアイデアを持つ中高生と企業とをマッチング	5 件成立

イ 大学連携による産業人材育成プロジェクト

群馬県の主力産業である自動車関連産業の発展に向けて、デジタル等に関する知識と技能をもって、新たな価値を生み出し、同産業の未来を牽引する人材を育成するため、県内産学官の連携による公開講座等を実施した。

区 分	事業内容	参加者
産業人材育成講座	大学生等を対象とした、自動車関連産業を牽引する人材育成を目的とした県内産学官の連携による公開講座（全7回）	72名
キッズクリエイター事業	小学生を対象とした、自動運転技術やプログラミングを体験し、未来のクルマを考える体験教室	30
ぐんま未来のモビリティ教室 in Digital Land	小学生を対象とした、プログラミングでモビリティ型ロボットやドローンを動かして未来の暮らしを考える体験教室	80

⑤ ぐんま未来イノベーションLAB

群馬からイノベーションを創出するため、異業種連携のプラットフォーム「ぐんま未来イノベーションLAB」を創設し、経営者・中核人材向け連続セミナーを開催した。

区 分	事業内容	事業費
未来イノベーションLAB運営	新規会員獲得のための広報活動、専用サイトでの会員情報発信などを実施。 会員数：163者（令和5年3月末日時点）	2,534千円
経営力向上セミナー	デジタル技術の動向、企業事例、変革期における経営の考え方などを学ぶ連続セミナーを開催。 開催回数：5回 参加者数：延べ769名	

(3) 感染症対策産業経済支援

決算額 16,773,910 千円

① 物資供給管理システム運営

新たな生活様式への対応が求められる中、品質の高いマスクを地産地消により安定的に供給するプロジェクト「群馬県マスク地産地消推進プロジェクト」を実施。県産マスクを安心して確実に購入できるように、物資供給管理システムの運営と民間事業者のノウハウを活用した仕組みを運用した。

協力企業数	購入申込枚数	金額
6社	43万枚	16,290千円

② 営業時間短縮要請協力金

新型コロナウイルス感染症対策のため県の営業時間短縮等要請に協力した飲食店等に対し、協力金を支給した。

(令和5年3月31日現在)

区 分	支給件数	支給金額
令和3年度繰越分	16,851件	13,881,220千円

③ 新ぐんまチャレンジ支援金

コロナ禍や原油価格・物価高騰で厳しい業況の中で前向きな取組を行う事業者を対象に「新ぐんまチャレンジ支援金」を支給した。

(令和5年3月31日現在)

区 分	支給件数	支給金額
新ぐんまチャレンジ支援金	7,415件	2,277,681千円

④ 感染症対策県内企業ワンストップセンター設置

県内企業が抱える新型コロナウイルス感染症に起因する資金繰りや雇用維持等の相談に対応した。

(令和5年3月31日現在)

区 分	相談件数
感染症対策県内企業ワンストップセンター	614件

(4) 中小企業連携組織対策

① (公財)群馬県産業支援機構運営費補助 決算額 121,849千円

中小企業の中核的支援機関である(公財)群馬県産業支援機構の運営費を助成し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事業名	補助額
(公財)群馬県産業支援機構運営費補助	121,849千円

・令和4年度事業実績(主な事業・他の委託事業費も含む)

区 分	内 容
経営支援	ビジネスサポートBASEぐんま運営(相談1,276件)、よろず支援拠点(相談15,948件)、事業承継・引継ぎ支援センター(相談367件、成約28.5(※)件)、創業支援(相談291件)、プロフェッショナル人材戦略拠点(相談216件、成約33件)、中小企業活性化協議会(相談181件、再生計画策定実績92件)
取引開拓支援	下請取引あっせん(紹介345件、成立43件)、広域商談会(受注商談202件)・個別商談会(商談133件)の開催、展示会出展支援(4回、163社)、下請取引適正化事業(相談184件)
ものづくり技術・産学連携支援	群馬ものづくり現場新人研修(2回、86人)、IoT・AI等普及促進支援(相談129社)、戦略的基盤技術高度化支援(1件)

※他センターとの連携は0.5カウント

② 中小企業連携組織対策事業費補助 決算額 133,851千円

群馬県中小企業団体中央会に人件費を補助し、中小企業の組織化及び事業協同組合等への指導を行うとともに、同会が行う会員の人材育成や経営力強化などを支援し、中小企業の連携組織対策の推進を図った。

事業名	補助金額
群馬県中小企業連携組織対策事業費補助金	133,851千円

・補助対象職員数・指導実績

区分	内容
補助対象職員数	指導員18人、職員2人
指導実績	実地指導1,222件、窓口指導1,972件

(5)小規模事業対策

決算額

1,637,543千円

① 小規模事業経営支援事業費補助

商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等及び商工会連合会が行う商工会指導事業等に助成し、小規模事業者の振興と経営の安定を図った。

主な事業活動の内容は、次のとおり。

- ・金融、税務、経理、販売管理、労務、技術の改善その他経営に関する指導等
 - ・小規模事業者の経営の改善発達に資する地域の活性化又は商工業の振興に関する事業の実施、協力、指導
 - ・経営、技術、各種制度等に関する情報、資料の収集及び提供
- 令和4年度における主な事業実績等は以下のとおり。

・補助対象職員設置数

(令和4年4月1日現在)

区分	団体数	経営指導員	経営支援員 (旧補助員)	経営支援員 (旧記帳専任職員)	事務局長
商工会	43団体	90人	48人	27人	30人
商工会議所	10	70	22		3
商工会連合会	1	19	5		
計	54	179	75	27	33

・指導実績

区分	指導件数		
	巡回指導	窓口指導	創業指導
商工会	28,354件	29,142件	255件
商工会議所	11,218	18,353	329
商工会連合会	1,295	951	7
計	40,867	48,446	591

・補助額

区分	補助金額
商工会連合会・商工会	1,138,740千円
商工会議所	488,274
計	1,627,014

② 小規模事業者エキスパートバンク事業費補助

商工会議所及び商工会連合会が小規模事業者及び創業を予定する者に専門家を派遣し、指導助言等を行うことにより、経営改善を図る経費の支援を実施した。

事業名	事業内容	補助金額
小規模事業者エキスパートバンク事業費補助	派遣回数：123件	4,229千円

③ 商工会議所連合会補助

群馬県商工会議所連合会が行う商工業者振興事業等及び各商工会議所が行う広報活動事業等に助成し、商工会議所連合会及び各商工会議所の健全な育成と振興を図った。

事業名	補助金額
群馬県商工会議所連合会補助	6,300千円

④ 中小企業サポーターズ制度

県内の金融機関と、中小企業支援機関との連携による企業支援制度「群馬県中小企業サポーターズ制度」を県が運営し、きめ細かな中小企業の経営支援を展開することにより、県内中小企業の経営力のさらなる向上を図った。

区分	発行回数
県中小企業サポーターズメールマガジン	26回

(6) 計量検定所

決算額 27,574千円

計量法に基づき、特定計量器の検定及び検査等を実施するとともに、特定計量器を製造又は使用する事業者に対する立入検査を行い、正確な計量器の供給と適正な計量の確保を図った。

区分	検定・検査数
検定（タクシメーター、燃料油メーター、血圧計等）	10,424個
検査（基準器検査、計量証明検査等）	210
立入検査（燃料油メーター、商品量目、届出・登録事業者等）	167戸
「指定定期検査機関」による定期検査	3,473個

2 未来投資・デジタル産業費

(1) デジタル産業創出

決算額 287,370千円

- ① 地域の産業社会にイノベーションをもたらす可能性のある、デジタル技術を活用して行う新たなビジネスの社会実証または実装プロジェクトを支援した。（補助上限額：3,000万円（県内スタートアップが参画する場合は200万円を加算）、補助率2/3）

区分	採択件数	補助金額
ぐんまデジタルイノベーション加速化補助金	12件	209,724千円

- ② 新規事業創出の手法を体系的に学び、異業種連携による社会課題解決型プロジェクト立ち上げを目指すワークショップ型カリキュラムを実施した。

区分	事業内容	事業費
課題解決型新事業創出カリキュラム「Next Base」	実施期間：令和4年11月～令和5年2月 （全8回） 参加者数：22名 プロジェクト組成数：5件	5,995千円

- ③ 最先端のデジタル技術が一堂に会した展示・体験イベントをGメッセ群馬で開催し、G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合開催に向けた機運醸成と「デジタル先進県ぐんま」をPRした。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんま Digital Land	開催日：令和5年3月21日、22日 内 容：最新デジタル技術の展示・商談、 グリーンバックを活用した映像体験、 施設西側壁面を活用した映像プロ モーションなど 出展者：107者 来場者：8,800人	67,505千円
春 夜 の 縁 日 (ぐんまDigital Land プレイベント)	開催日：令和5年3月20日 内 容：ステージパフォーマンス、 eスポーツ酒場、地酒試飲、 キッチンカー出店 来場者：800人	

(2) 未来投資促進

決算額 177,401千円

本社機能や試験研究施設の移転、県内企業の投資拡大を促進するため、東京圏、大阪圏での営業、企業誘致推進補助金や地域未来投資促進法等の優遇措置の活用など、積極的な誘致活動を展開した。その結果、令和4年工場立地動向調査において、立地件数(39件)で全国第6位と全国上位の実績に繋がった。

区 分	事業費
産業団地等の情報発信(ターゲット企業調査)	3,190千円
企業誘致推進補助金の活用(交付件数：6件)	161,360

(3) スタートアップ支援

決算額 13,789千円

- ① 新たなビジネスモデルやプロダクト・サービスを有するスタートアップやベンチャー企業、事業者が登壇するイベント(NETSUGENピッチ)を実施した。

区 分	開催回数	登壇者数 (延べ)	聴講者
NETSUGENピッチ	10回	38者 +高校3校	782名

- ② スタートアップ、起業家という切り口でビジネスを学び、興味関心を深めてもらうことを目的としたセミナーを実施した。

区 分	参加者数
スタートアップ・エコシステム醸成セミナー	50名

- ③ 成長する意欲を有するスタートアップ、ベンチャー企業に対して、専門事業者による短期集中的な経営支援プログラム(アクセラレーションプログラム)を実施した。

区 分	内 容
ぐんまスタートアップ アクセラレーション プログラム	支援対象者数：5者 プログラム提供期間：4ヶ月間 成果発表会参加者数：83名

- ④ 金融機関、研究機関等と設立したコンソーシアムにより、研究開発型のスタートアップの創出に向けた支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
ぐんまテックプランングラ ンプリ	大学等の研究機関や企業の科学技術の事業 化を支援するため、研究シーズをプレゼン テーションするコンテストを開催した。 ・参加者：約80名 ・ファイナリスト：9チーム (エントリー 21チーム) ・パートナー企業：3社	5,000千円

- ⑤ スタートアップ事業拡大支援を目的として、地域（県域）で閉ざされた環境ではなく、県域を越えた支援が獲得可能な環境を創出するため、関東経済産業局、茨城県、栃木県、長野県と連携したピッチイベントを開催した。

区 分	登壇者数	聴講者
北関東・信州広域連携ピッチ	8者	80名

(4) 創業支援

決算額

56,914千円

- ① 学生や女性向けに創業機運の醸成を目的としたイベントを開催した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
創業者創出ミーティング の開催	・学生向け 起業家によるセミナーやビジネスプラン を作成・発表するプログラムを実施 (高校生) 実施校数：3校、参加者数：72名 (大学生) 参加者数：15名 ・女性向け 女性創業者と参加者が対話交流できるセ ミナーの開催 参加者数：22名	938千円

- ② 地域課題の解決に向け、新たに起業する者に対して起業支援金の交付と、起業後のフォローアップにより、創業から事業の安定化に向けた支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
地方創生起業支援	地域課題の解決に向けて新たに起業した 者を対象に起業支援金の交付と、起業後 の伴走支援を実施。 ・起業支援金 30名、47,344千円	55,927千円

- ③ 群馬県産業支援機構において、創業前後の相談窓口を設置するとともに、ぐんま創業者支援塾を開催し、創業者のビジネスプランの磨き上げ・マッチング支援を実施した。

区 分	事 業 内 容
相談窓口（ビジネスサ ポートBASEぐんま“ココ カラ”）の運営	創業に関する相談件数 291件

区 分	事 業 内 容
ぐんま創業者支援塾	支援を希望する創業者を公募し、講座を開催するとともに、ビジネスプランの磨き上げ・マッチング支援を実施した。 ・支援創業者 10人

3 地域企業支援費

(1) 貸金業対策

決算額

950千円

貸金業法に基づき、資金需要者等の利益の保護を図るため、貸金業者の登録及び立入検査並びに苦情相談の処理を行った。

登録処理数 (うち更新登録)	登録業者数(令和4年度末)	立入検査件数	苦情相談処理件数
6件(4件)	12業者	6件	6件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金積立

決算額

13,727千円

新型コロナウイルス感染症関連制度融資に係る信用保証料補助返戻金および運用益を基金へ積み立てた。

(3) 中心市街地・商業活性化推進

決算額

1,085千円

- ① 地域やまちなかの課題解決や活性化に向けて、クラウドファンディング活用セミナーを開催した。

区 分	参加人数
成功事例に学ぶ クラウドファンディング活用セミナー 期 日：令和5年2月27日 講 師：基調講演 和田亮介氏（上毛新聞社） 事例発表 小田幸村氏（M e b u k i） 津久井篤氏、津久井美紅氏（上の湯） 場 所：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	31人

- ② 官民連携によるリノベーションまちづくりを推進するため、機運醸成のための講演会を実施した。

区 分	参加人数
ぐんまりノベーションまちづくりセミナー 期 日：令和5年3月17日 講 師：原大祐氏（NPO法人西湘をあそぶ会代表理事） 場 所：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	77人

- ③ 県商店街振興組合連合会が商店街振興組合に対して実施する、組合運営に関する指導、各種研修事業を支援した。

事業主体	事業費	補助額	事業内容
群馬県商店街振興組合連合会	774千円	774千円	指導事業、近代化講習、女性部研修会、後継者養成研修

(4) 大型店対策

決算額

1,048 千円

① 県大規模小売店舗立地審議会運営

大規模小売店舗の立地に際し、その周辺地域の生活環境を保持する観点から、「群馬県大規模小売店舗立地審議会」を開催し、大規模小売店舗立地法の趣旨に則って、公平で適正な審査を実施した。

- ・大規模小売店舗立地法による審査

区 分	審 議 件 数	審 議 状 況
新 設 案 件	29件	意見なし：29件
変 更 案 件（増床等）	6	意見なし：6
計	35	意見なし：35

- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会 令和4年度開催回数 6回
- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会現地調査 令和4年度実施回数 35回

② 大規模小売店舗立地法に係る届出事務処理・指導

「大規模小売店舗の地域貢献ガイドライン」に基づき、大規模小売店舗が行う様々な地域貢献活動に係る実施状況報告書等の県への報告を求めており、県ホームページで公開している。

- ・提出状況 (令和5年3月31日現在)

区 分	店 舗 数
地域貢献ガイドライン計画書	63店舗
地域貢献ガイドライン報告書（計画書提出から3年以内に提出）	48

※対象店舗（店舗面積 6,000 m²超の大規模小売店舗）は 80 店舗

(5) サービス産業振興・物流機能強化推進

決算額

351 千円

① サービス産業振興

ストップコロナ！対策認定店が情報を正しく発信し、集客アップに繋げるため、GBP（グーグルビジネスプロフィール）の活用に関するセミナーを4回開催した。（ストップコロナ！対策認定店情報発信事業の予算で実施）

② 物流機能強化推進

物流業界の働き方改革等について事業者が発信するため、セミナーを開催した。

区 分	参加人数
物流セミナー（（一社）群馬県トラック協会との共催） 期 日：令和5年3月16日 テーマ：「荷主第一主義が及ぼす運送業界への影響と今後の課題」 講 師：橋本愛喜氏（フリーライター） 場 所：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	68人

(6) ニューノーマル創出支援

決算額

237,837 千円

① ストップコロナ！対策認定制度

消費者からの信頼性の確保や消費喚起による地域経済の活性化を図るため、各業界団体等が作成した感染症対策ガイドライン等に基づき、感染症対策を適切に行っている店舗を「ストップコロナ！対策認定店」として認定した。

国の「ワクチン・検査パッケージ制度」に基づき、飲食店等の事業者の登録手続きを行った。

区 分	件 数	事業費
ストップコロナ！対策認定店	529件	216,966千円
ワクチン・検査パッケージ登録	604	

② ストップコロナ！対策認定店情報発信事業

ストップコロナ！対策認定店が情報を正しく発信し、集客アップに繋げるため、GBP（グーグルビジネスプロフィール）の活用に関するセミナーを4回開催した。

また、セミナー後も事業者からの様々な疑問を解決するためのサポートセンターを設置した。

区分	人数及び件数	事業費
GBPセミナー参加者	174人	2,538千円
サポートセンター利用件数	50件	

③ ニューノーマル創出支援事業費補助

「ストップコロナ！対策認定制度」の認定を取得した中小・小規模事業者が、3事業者以上集まって新たに取り組むビジネスプランを募集し、応募のあった提案に対して、審査会を実施した上で、新型コロナ時代に対応する新しいビジネスのモデル的な取組を選定し、実施を支援した。

区分	件 数	補 助 額
採択件数	15件	12,192千円

(7) 経営力強化支援

決算額

40,154千円

- ① 経済環境の変化に対応して、新事業や新分野進出などに取り組み、経営の向上を目指す中小企業を支援するため、中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認を行った。計画の承認を受けた企業では、制度融資等支援措置の活用による設備投資、新たな事業活動による受注拡大のほか、社外（金融機関、取引先）からの評価の向上、社内におけるモチベーションの向上等の成果が上がっている。

区 分	件 数
経営革新計画の承認	33件

- ② 東京海上日動火災保険(株)との協定に基づき、県内企業のBCP（事業継続計画）策定支援や自然災害BCP策定ワークショップ、事業継続力強化計画策定ワークショップを行ったほか、中小企業の経営力強化支援の一環として各種セミナーを開催した。

区 分	参加人数
BCP（事業継続計画）セミナー	185人
・基礎・概論セミナー	
・事業継続力強化計画策定ワークショップ（計2回）	
・自然災害BCP策定ワークショップ（計2回）	
・BCP・BCMセミナー	27

- ③ 中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の取組を支援し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

内 容	補 助 額
経営総合相談窓口運営(相談1,276件)、 事業承継・引継ぎ支援センター(相談367件、成約68件)	16,734千円

④ プロフェッショナル人材戦略拠点

ア 潜在的成長力の高い中堅・中小企業を中心に、新商品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用をサポートするため、群馬県産業支援機構に「群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、相談対応やマッチング支援を行った。

区 分	件 数
相 談 件 数	216件
人材紹介会社への取次件数	163
マ ッ チ ン グ 成 約 件 数	33

イ 中小企業向けのセミナーを開催し、事業の周知及び攻めの経営を促すための啓発を行った。

区 分	参加人数
中小企業のデジタル人材活用に関するセミナー	155人

(8) 事業承継支援

決算額

2,257千円

県内中小企業の円滑な事業承継を促進するため、「事業承継診断」、「事業承継計画」策定支援のほか、承継課題、経営課題の見える化とデジタル技術の活用等による経営力強化に向けた専門家派遣を実施した。

さらに、第三者承継(M&A)への理解と取組を進めるためのセミナーを実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
事 業 承 継 支 援	支援機関(商工団体、金融機関、税理士会等)の協力を得て、県内中小企業の事業承継診断、事業承継計画策定を支援するとともに、課題の見える化、磨き上げに向けた専門家派遣を行った。 ・事業承継診断実施件数：3,828件 ・事業承継計画策定件数：376 ・専門家派遣：11事業者 ・第三者承継啓発セミナー 令和4年9月2日：参加者27人 令和4年11月20日：13	2,257千円

(9) 地場産業総合振興対策

決算額

23,689千円

① 本県繊維産業産地の活性化を図るため、「産地組合」や「企業グループ」が行う事業に対して補助を行った。

区 分	事業者数	事 業 内 容	補助金額
繊維産業産地活性化推進補助	4団体	産地組合等が行う本県繊維製品の販路開拓、地域ブランド確立及び人材育成等に対する支援	8,120千円

- ② コロナ禍における新たな販路開拓の手段として、県内の地場産業企業と首都圏バイヤーをマッチングさせるオンライン商談会を開催した。

区 分	事業内容	事業費
ぐんまの地場産品オンライン商談会	期 日：令和4年11月24日 ～12月2日 参加企業：24社 商談件数：84件	1,957千円

- ③ 地域資源を活用した中小企業者の販路開拓を支援するため、群馬県産業支援機構と連携して国際見本市への共同出展を実施した。

区 分	事業内容	事業費
FOODEX JAPAN 2023	期 日：令和5年3月7日～10日 会 場：幕張メッセ 参加企業：26社 商談件数：855件	3,400千円

- ④ 県内ものづくり事業者に対して、マーケティング等の専門家による商品開発の支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
商品プロデュース支援事業	参加事業者：39社	5,500千円

- ⑤ 郷土の自然とくらしの中で生まれ、受け継がれてきた伝統的な工芸品の存在を広く県民に認知してもらうため、展示会を開催した。

区 分	事業内容	事業費
群馬県ふるさと伝統工芸品展	期 日：令和4年10月28日～30日 場 所：県庁県民ホール 出展品目：20品目 来場者数：1,816人	1,298千円

- ⑥ 企業と学生とのデザインマッチングを開催し、若者の感性を取り入れた県内企業によるものづくりを支援した。

区 分	事業内容	事業費
デザインマッチング	実施企業：4社 参加教育機関：2校（県内）	

(10) 中小企業技術振興対策 決算額 60,573千円

中小企業の新技術・新製品開発に補助し、デジタル技術を活用した製品開発やDX推進等を支援することにより、「稼ぐ力」の向上を図り、競争力を高めた。

区 分	事業者数	対象事業費	補助金額
ぐんまDX技術革新補助金	14社	99,925千円	43,361千円
ぐんま技術革新チャレンジ補助金	26	34,851	9,804

(11) 次世代モビリティ産業参入支援 決算額 24,574千円

令和3年度に（公財）群馬県産業支援機構に設置した「自動車サプライヤー支援センター」の機能を拡充し、コーディネート活動や電動化への技術支援の強化及びデジタル化対応に向けた人材育成等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーター	専任コーディネーターが県内自動車サプライヤー企業等からの相談に対応（68社・121件）	24,574千円
人材育成講座	EV化を見据えた関連技術の知識や技術の理解を促進し、ハードウェアとソフトウェアの両方の知識を有するエンジニアを育成。 ①CAE講座 開催日時：令和4年7月13日～14日（2日間） 参加人数：10名 ②MBD講座 開催日時：令和4年8月9日～10日（2日間） 参加人数：10名	
x EVティアダウン展示・説明会	電動車部品の展示及び技術者による解説 開催日時：令和4年8月31日 参加人数：76名	
業界動向セミナー	① Honda のカーボンニュートラルに向けた取組 ② サステナブルモビリティ社会に向けた環境・安全技術開発の取組 開催日時：令和4年9月8日 参加人数：146名	
技術セミナー	① MBD 推進センターが推進する「開発効率化のため、モデルを用いた高度なすり合わせ開発（SURIAWASE2.0）とは」 ② 新しい価値を創造し、高品質かつ効率的に実現する MBD アプローチ 開催日時：令和4年9月9日 参加人数：50名	
EV講座	電気自動車のコンポーネント技術と、EV を巡る最新動向の確認 開催日時：令和5年2月2日 参加人数：160名	

(12) スマートファクトリー創出支援

決算額

29,223千円

デジタルソリューションラボを拠点に、IoT・AI・ロボット・5G等のデジタル技術を導入してスマートファクトリー化を目指す県内中小企業を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーター	①スマートものづくりコーディネーター デジタル技術導入推進のため、コーディネーターを配置し、企業の現場で助言・指導を実施 導入支援数：28社 ②ロボット導入支援専門家派遣 ロボット導入に係る相談対応を実施	21,603千円

区 分	事 業 内 容	事 業 費
	専門家派遣：9社	
ロボット関連セミナー、育成講座	①ロボット導入支援セミナー 開催日時：令和4年9月9日 参加人数：65名 ②ロボットシステムインテグレーター育成講座 開催日時：令和4年11月～12月（3日間） 参加人数：24名	
IoT活用セミナー、人材育成講座	①IoT活用セミナー 開催日時：令和4年10月4日 参加人数：47名 ②IoT活用人材育成講座 開催日時：令和4年10月～令和5年1月（5日間） 参加人数：10名	6,281千円
3D金属積層技術講座	開催日時：令和5年2月～3月（5日間） 参加人数：10名	1,210

(13) ぐんまスペース&エアロプロジェクト

決算額

10,078千円

産学官連携・宇宙ベンチャーとの共創により、県内企業の宇宙ビジネス参入に向けた機運醸成を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
宇宙ビジネス入門セミナー	JAXAの宇宙ビジネス促進と地域連携、衛星データ活用事例の紹介 開催日時：令和4年8月2日 参加人数：29名	10,078千円
宇宙ビジネストップセミナー	宇宙ビジネスの広がり と JAXA の取組、IHI エアロスペースにおける宇宙開発利用の取組 開催日時：令和4年8月19日 参加人数：85名	
群馬版宇宙イノベーションパートナーシップ「Hizuru-SI」	①コーディネーター（4名） 宇宙ビジネス創出のためコーディネーターを専任し県内企業へのヒアリング等を実施（5社）。 ②ぐんま宇宙ビジネス連続セミナー ・第1回「衛星データ利活用編」 開催日時：令和4年12月20日 参加人数：15名 ・第2回「宇宙×食」 開催日時：令和5年1月27日 参加人数：21名 ・第3回「衛星開発編」 開催日時：令和5年2月7日 参加人数：18名	

区 分	事 業 内 容	事 業 費
	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回「宇宙×繊維」 開催日時：令和5年2月9日 参加人数：13名 ③衛星データ活用実証プロジェクト 宇宙ビジネス参入可能性のある企業にヒアリング等を行いソリューション案の作成を支援（1社） 	

(14) 海外ビジネス展開支援 決算額 14,441 千円

- ① 事業者の海外展開に関する具体的な課題解決のため、ジェトロや金融機関等の支援機関と連携して事業を実施した。

区 分	事業内容
ジェトロ群馬貿易情報センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易投資相談件数：368件 ・セミナー、商談会：11回 ・ハンズオン支援：13社

- ② 輸出に関する基礎知識の習得から実践となる商談会参加までを一貫して体験する、パッケージ型の支援を行った。

区 分	事業内容
グローバルビジネス実践塾	参加企業数：25社（加工食品・雑貨事業者） セミナー・ワークショップ：4回

- ③ 国際見本市に群馬県ブースを設け、県内企業に海外バイヤーや国内商社との商談機会を提供した。

区 分	事業内容	事 業 費
東京インターナショナル・ギフト・ショー春2023	日 程：令和5年2月15日～17日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：4社 商談件数：33件	971千円

- ④ 越境ECへの参入を目指す事業者を対象に、基礎的なセミナーやテストマーケティング等の支援を行った。

区 分	事業内容	事 業 費
越境EC参入支援事業	参加企業数：10社 出品商品数：25品 販売金額：1,331千円	3,465千円

(15) 受発注振興対策 決算額 40,782 千円

- ① 展示商談会「群馬ものづくりフェア」や都内展示会への共同出展事業を実施するほか、常設オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」を活用し、リアルとバーチャルのハイブリッドで販路拡大・ビジネスマッチングを支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
群馬ものづくりフェア2022	日 程：令和4年9月8日、9日 場 所：Gメッセ群馬	5,320 千円

区 分	事 業 内 容	事 業 費
ものづくり企業展示商談会 出展支援	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回 Japan IT Week名古屋 日 程：令和4年7月27日～29日 場 所：ポートメッセなごや 出展企業数：6社 商談件数等：86件 ・CEATEC2022 日 程：令和4年10月18日～21日 場 所：幕張メッセ国際展示場 出展企業数：4社 商談件数等：38件 ・第15回オートモーティブワールド 日 程：令和5年1月25日～27日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：13社 商談件数等：77件 	15,005千円
オンライン展示場 「GUNMA VIRTUAL EXPO」	掲載企業登録数：545社 ユーザー登録数：1,575人	893
オンラインプロモーション ツール作成支援	支援企業19社	7,439

- ② 取引の受発注のあっせん、経営及び技術指導、情報提供等の事業を行う群馬県産業支援機構への補助を通じ、下請中小企業の経営の安定化を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
下請中小 企業取引 情報提供等 事業費補助	<ul style="list-style-type: none"> 下請あっせん 企業訪問件数：605件 あっせん件数：345 成約件数：43 関東5県 ビジネス マッチング 商談会 期 日：令和4年9月13日 参加企業：37社 商談件数：196件 個別マッチ ング 参加企業：58社 商談件数：126件 	11,923千円

(16) 事業多角化・新分野参入支援

決算額

22,721千円

- ① 「事業多角化支援コーディネーター」が金融機関等との連携による事業計画策定も含めた国競争的資金獲得支援や各種マッチング支援等を通して、県内企業の多角化・新分野進出支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
コーディネーターによる 伴走支援	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問件数：209件 事業多角化に関する案件：38件 補助金獲得総額（万円）：111,869万円 	19,522千円

- ② ものづくり企業の事業多角化を支援するため、成長市場参入による事業多角化を検討するにあたっての基礎知識やノウハウ、最新動向などを伝えるセミナー等を実施。

区 分	事 業 内 容	事業費
事業多角化戦略ゼミ（全4回）	テーマ：コロナ時代に必要な 事業多角化とは？ 期 日：令和4年10月28日 参加者：22人	2,225千円
	テーマ：ゼロから取り組む脱 炭素経営～具体的な 方法を徹底開設～ 期 日：令和4年10月28日 参加者：18人	
	テーマ：全国各地の事例に学 ぶ「製造業の事業多 角化戦略」 期 日：令和5年2月6日 参加者：44人	
	テーマ：「製造業の事業多角 化戦略」実践講座 期 日：令和5年2月6日 参加者：51人	

- ③ 医療機器等開発を進める企業に対し、展示会等への出展費用を補助し、事業化を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんま医療・福祉関連展示会等出展支援補助	支援企業2社	699千円

4 観光魅力創出費

(1) リトリート推進

決算額 24,077千円

群馬県の温泉や豊かな自然を活用し、心と体をリセットする「リトリートの聖地」を目指す取組を実施した。

区 分	事業内容	事業費
温泉地パワ ー調査	県内7カ所の温泉地で宿泊事業者、関係団体・市町村・県職員を交えた検討会を実施し、リトリートモデルプランを12プラン作成	12,983千円
P R 動 画 制 作	本県のリトリート旅の魅力を発信するための動画を作成 動画再生回数：4,357回	1,595
リトリート 環境整備	県内地域（2カ所）からリトリート環境整備に向けた事業計画の提出を受け、アドバイザーによる現地視察を実施	204

(2) インバウンド誘客促進

決算額 105,437千円

① 観光情報収集・発信

令和3年度までにリニューアルした多言語の観光情報ウェブサイトやSNSの運用に

より、海外に向けて本県の観光情報を発信したほか、ウェブサイトへのアクセスやSNS登録者数を高めるための広告を各言語ページに掲載した。

区 分	対応言語	実 績
ウェブサイト	英語・中国語（簡体字・繁体字）・タイ語	セッション（訪問数） 英 語：288,261回 繁体字：205,917 簡体字： 5,743 タイ語： 83,384 計：583,305 (令和3年度より486,878回増)
Facebook ページ	英語・中国語（繁体字）・タイ語	フォロワー数 英 語：15,482人 繁体字：18,585 タイ語：17,088 計：51,155 (令和3年度より20,555人増)
インスタグラム	英語	フォロワー数 約7,700人 (令和3年度より1,700人増)

② 広域連携誘客促進

北関東三県や群馬・埼玉・新潟三県連携、北陸新幹線沿線地域との広域連携等により、海外の有力メディアを活用したオンライン事業等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
北関東三県広域観光推進協議会	台中国際旅展出展	ブース来訪：延べ約1,150人 アンケート回収数：765件
北陸新幹線沿線地域広域連携	海外有力メディアを活用した記事広告	本県関連記事掲載海外メディア：5社
埼玉県連携台湾訪日教育旅行	ガイド育成研修及びオンライン商談会の実施	ガイド研修修了者数：6人 商談会参加団体 ・台湾学校関係者：14団体 ・旅行会社：3社
関東観光広域連携事業推進協議会	SNS等オンライン情報発信	Facebookリーチ数（本県分）：328,766回

③ 海外セールスプロモーション

台湾、タイ、オーストラリア等を主なターゲットとして、KOL（インフルエンサー）を活用した情報発信、オンライン商談会等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
海外旅行会社へのニュースレター配信	訪日観光の受入開始を踏まえた海外旅行会社への観光情報等のニュースレター配信	送付先（計207社） 台湾 66社 タイ 38 豪州 66 中国 37

区 分	実施内容	実 績
タイ旅行会社視察 旅行支援	旅行商品造成・販売促進を図るための現地旅行会社の視察支援	支援件数：4社6名 送客数：110人泊
JNTO バンコク事務所主催オンライン商談会	Gunma Excellence 施設とタイ旅行会社の商談マッチング及びサポート	県内事業者：6事業者 タイ旅行会社：6社
訪日個人旅行者（FIT）向け誘客促進オンラインプロモーション	Gunma Excellence 施設のPR及び対象市場において影響力のあるKOLを活用したSNSを通じた情報発信	特設ページセッション（訪問数）：約12万6千回 KOL投稿閲覧数：180万回
アドベンチャーツーリズム（AT）現状調査	現地の視察調査、観光協会等へのヒアリングを踏まえたAT資源の可能性と課題の分析	以下の課題が判明 ・ATコンテンツ不足 ・ATガイド不足 ・コンテンツ事業者とガイドのマッチング機会不足

④ 受入環境整備

外国人誘客に取り組む観光事業者を「外国人誘客のためのパートナー施設（以下、「パートナー施設」という。）」として登録し、さらにパートナー施設の中でも外国人観光客がストレスフリーに滞在するための一定基準を満たしている施設を「Gunma Excellence 施設」として登録した。それぞれの募集・登録を進めるとともに、オンライン研修会や対面研修会を通じて施設のレベルアップを行った。

区 分	新規登録数	累計登録数
パ ー ト ナ ー 施 設	27施設	217施設
Gunma Excellence 施設	13	70

⑤ 海外情報翻訳発信

観光情報の収集・翻訳・発信等を行う会計年度任用職員を雇用し、Facebook ページやウェブサイト、各種プロモーション資料等、多言語での本県観光情報発信を行った。

(3) 旅行支援事業

決算額 19,173,792 千円

① 愛郷ぐんまプロジェクト・全国割

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内宿泊施設において多数のキャンセルが発生し、観光需要の落ち込みが見られることから、観光需要の喚起、県内地域の観光振興を図った。

ア 愛郷ぐんまプロジェクト

区 分	内 容	事業費
第4弾 宿泊 キャンペーン	対象：群馬・茨城・埼玉・千葉・新潟・山梨県民 (4月6日から：神奈川県民追加) (4月11日から：栃木・長野県民追加) 実施期間：令和4年4月1日宿泊～4月28日宿泊分 割引金額：1人1泊6,600円（税込）以上の宿泊の場合	8,454,033千円

区 分	内 容	事業費
	ワクチン3回接種又はPCR検査陰性 1人あたり5,000円割引 上記以外 1人あたり3,000円割引 事業実績：172,876人泊	
第5弾 宿泊 キャンペーン	対象：群馬・福島・茨城・栃木・埼玉・千葉・神奈 川・新潟・山梨・長野県民 条件：ワクチン3回接種又はPCR検査陰性 実施期間：令和4年5月9日宿泊～10月10日宿泊分 割引金額：1人1泊6,600円～9,999円(税込)の宿泊の 場合 1人あたり3,000円割引 1人1泊10,000円(税込)以上の宿泊の場合 1人あたり5,000円割引 事業実績：1,106,698人泊	

イ 愛郷ぐんま全国割

区 分	内 容	事業費
令和4年 10月11日 ～12月27日	対象：日本国内居住者 条件：ワクチン3回接種又はPCR検査陰性 実施期間：令和4年10月11日宿泊～12月27日宿泊分 割引金額：交通付き宿泊旅行の場合 1人1泊あたり8,000円割引 上記以外の旅行の場合 1人又は1人1泊あたり5,000円割引 ※それぞれ旅行代金の40%を上限とする 地域クーポン：平日3,000円、休日1,000円	10,719,759千円
令和5年 1月10日～	対象：日本国内居住者 条件：ワクチン3回接種又はPCR検査陰性 実施期間：令和5年1月10日宿泊～ 割引金額：交通付き宿泊旅行の場合 1人1泊あたり5,000円割引 上記以外の旅行の場合 1人又は1人1泊あたり3,000円割引 ※それぞれ旅行代金の20%を上限とする 地域クーポン：平日2,000円、休日1,000円	

・ 事業実績：1,492,460人泊（令和5年3月31日時点）

(4) ツーリズムイノベーション

決算額

27,019千円

ニューノーマルに対応した「新たな観光スタイル」の構築に係る取組を実施した。

区 分	事業内容	事業費
ニューノーマル普及ゼミ	市町村や観光協会等を対象に知見やノウハウ、先進事例を紹介（5回開催）	2,750千円
新たな観光スタイル普及啓発	「新たな観光スタイル」による本県の魅力を発信するため動画を作成	2,000
ニューツーリズム創出支援	地域の関係者が一丸となって行う新たな観光スタイルの構築に向けた取組に対し支援を行った。	19,070
ワーケーション推進	ワーケーションやテレワーク制度を有する首都圏企業等を対象にモニターツアーを実施（2回開催）	3,199

(5) 観光事業振興対策

決算額

150,320千円

① 観光宣伝

バラエティに富んだ群馬の山々での山歩きや山麓観光などの魅力を掲載したガイドブックの作成、登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進等に取り組んだ。

また、動画広告の配信及び来訪計測を実施し、分析・効果研修を行った。

区 分	事業内容	事業費
ぐんまの山岳観光推進	群馬の山々での山歩きや山麓観光などの魅力を掲載したガイドブックの制作・市町村役場及びアウトドア用品店等への配布、登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進等 ガイドブック発行部数：20,000部 デジタルバッジキャンペーン 実施期間：令和4年10月1日～11月30日 デジタルバッジ獲得ユーザー：10,179人	11,582千円
Webマーケティング	動画広告の配信及び来訪計測の実施、分析・効果検証 広告配信期間：令和5年1月31日～2月22日 広告表示回数：8,683,743回 完全視聴率：41%	9,900
国内広域連携	・ドラ割「北関東周遊フリーパス」（ETC車限定で北関東三県内の高速道路が定額で乗り降り自由）の実施 令和4年4月1日～令和5年3月31日利用実績：21,071件 ・北関東三県合同観光パンフレット制作 パンフレット発行部数：30,000部（うち群馬県配布分：10,000部）	600

② 群馬県域DMOの推進

多様な関係者と連携して観光地域づくりを進めるため、県域観光地域づくり法人（DMO）である（公財）群馬県観光物産国際協会に事業を委託して実施した。

区 分	内 容	実 績
データプラットフォームの構築	各種のデータ（ビッグデータや統計データ、アンケート調査データ等）を県域DMOに集約し、観光客の動向や地域の課題をテーマに分析レポートを作成し、関係機関等に提供した。	レポート作成 21件 （内訳） 事業効果検証 3件 意識調査 3件 データ分析等 15件
観光統計整備	データプラットフォーム構築に向けた取り組みの一環として各市町村の観光の現状と課題を把握するため、観光入込客数等の調査を実施した。	四半期調査 35市町村に照会 データ集計・報告 地点調査 県内30地点における アンケート調査の実施 ・集計・報告
ニューノーマル観光地域づくり実装	県内市町村や地域DMO、観光協会等と共通のテーマに基づいて協働し、地域における観光地域づくりの課題解決に向けた取り組みを加速させた。	協働事業実施 1件
中核人材育成	新たな観光地づくりを提案し、自らプロデュースできるクリエイティブな人材を育成するために、6期目となる「ぐんま観光リーダー塾」を実施した。	講義・フィールドワークの実施 8件 （実施期間： 令和4年10月29日～ 令和5年1月21日）

③ ぐんまビジタートイレ認証

本県を訪れる観光客が使いやすいトイレを「ぐんまビジタートイレ」として認証し、きれいなトイレを確保することにより、県内観光地のイメージアップと集客を図った。

区 分	認証箇所数
新規認証	3箇所（3件）
更新認証	90（89）

※認証箇所総数：257箇所（238件）

④ ユニバーサルツーリズム推進

高齢者や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく旅行を楽しむことができる「ユニバーサルツーリズム」を推進するため、「ぐんまユニバーサルツーリズム相談窓口」の開設やセミナーを開催した。

(6) 物産振興対策

決算額

5,148千円

県産品の普及と品質向上を図るため、(公財)群馬県観光物産国際協会と連携し、県内の百貨店を活用した観光物産展を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

また、首都圏在住者を対象に本県観光地及び物産品への興味を喚起するオンラインイベントを開催したほか、本県を代表する「近代こけし」について展示販売を行うなど県内物産の振興を図った。

区 分	事業内容	事業費
物産展開催	主な観光物産展の開催状況 ・ 匠会創作こけし展（県庁県民ホール） 出展者数：15団体 売上げ：486千円 ・ 高崎高島屋 出展者数：75団体 売上げ：31,928千円 ・ スズラン前橋店 出展者数：57団体 売上げ：27,281千円 ・ スズラン高崎 出展者数：43団体 売上げ：13,455千円	108千円
魅力発信オンラインイベント	本県の特産品や農畜産物など、「食」を中心とした魅力を発信するオンラインイベントを開催（2回開催） ①開催日：令和4年10月23日 参加人数：定員30名 ②開催日：令和5年2月7日 参加人数：定員30名	4,382
全群馬近代こけしコンクール	こけしの品質、意匠の改良及び技術の向上を図り、本県の「近代こけし」産業の振興発展に寄与するため、「第63回全群馬近代こけしコンクール」を開催 一般公開日：令和5年2月3日～2月7日 出品数：306点	210

(7) 首都圏情報発信

決算額

119,736千円

首都圏において、パブリシティ活動や物産販売、飲食提供、観光・イベント情報の効果的な発信等を実施し、群馬の魅力を総合的にPRした。

① パブリシティ活動・ツアー造成

在京テレビ局や新聞社、出版社等への取材協力や情報提供等を積極的に行い、本県の露出度アップを図った。また、旅行エージェントへの旬な観光情報の提供等により、本県へのツアー造成を促進した。

② 来場者数・売上額

アンテナショップでの物産販売・飲食提供のほか、都内の百貨店等で観光PRや物産販売を行う「出張ぐんまちゃん家」を行った。

アンテナショップ事業は、令和5年3月31日で終了した。

区 分		令和4年度	令和3年度	前年度比
パブリ シテイ 活動	テレビ・ラジオ放送実績	204件	216件	94%
	新聞・雑誌等掲載実績	73	63	116
	広告料換算額	6億3千万円	21億9千万円	29
ツアー造成件数		62件	59件	105
来場者数		12万6千人	13万5千人	93
売上額		14,601万円	9,298万円	157

(8)大阪事務所運営

決算額 10,294千円

関西圏において、群馬のイメージアップや誘客促進のため、本県の魅力ある観光地や特産物などを効果的に宣伝したほか、企業誘致活動等を実施した。

区 分	件 数	内 容
観光展・物産展開催	35回（延べ232日）	イベント開催、観光案内
観光・物産案内状況	4,279人	来所、電話
企業誘致情報収集	52件	企業訪問、企業誘致関連活動

5 イベント産業振興費

(1)イベント産業振興

決算額 232,267千円

① Gメッセ群馬の運営

新型コロナウイルス感染症対策として、検温、館内の消毒、換気運転の強化、会場のスケールアップ、警戒度4の期間のキャンセル料返還を実施するなど、指定管理者による適正な施設の管理運営を行った。

ア 令和4年度 利用実績

- ・利用日数：348日（うち展示ホール201日、メインホール254日）
- ・日数稼働率：施設全体98.9%、展示ホール59.1%、メインホール74.3%
- ・利用件数：1,058件

（催事別内訳）

催事種別	学会 ・ 大会	講演会 ・ セミナー	会議	展示会	試験・ 就職 説明会	式典	その他 イベント	コンサート ・ ライブ	その他 興行	自主 事業
件数	23	225	517	69	119	15	76	3	8	3

- ・来場者数：334,156人

イ 令和4年度 収支実績

- ・収入：697,911千円、支出：632,943千円、収支：65,668千円

② Gメッセ群馬のブランド力向上、新たな活用

Gメッセ群馬の新たな活用として、建物壁面をスクリーンに使用したドライブインシアターを開催した。

③ Gメッセ群馬の維持整備

Gメッセ群馬敷地内及び周辺の施設環境の維持保全のため、指定管理業務委託範囲外の北口線植栽管理工事、雨水排水ポンプ設備点検保守業務、雨水貯留槽点検清掃業務を実施した。

利用者の利便性向上を図るため、緑道距離表示サイン設置工事、また、施設の不具合に応じ、大会議室壁面改修工事等を実施した。

④ M I C E の推進

Gメッセ群馬を核として、これまで県内で開催できなかった大規模なM I C E の誘致活動を行うとともに、全県的なM I C E 誘致に向け、県コンベンションビューローによる誘致活動及び開催支援を行った。

また、群馬県で開催される初めてのハイレベルな国際会議となる「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」を招致し、会合の成功に向けて、G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合開催推進協議会を設立し、受入整備、機運醸成、おもてなし等の事業を実施した。

※M I C E とは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

⑤ イベント産業の振興

県内イベント産業関連事業者がM I C E によってもたらされるビジネスチャンスを獲得できるよう、主催者とのマッチング支援を実施した。

令和4年度マッチング支援実績
・件数：51件

6 eスポーツ・新コンテンツ創出費

(1) eスポーツ推進

決算額

72,928千円

① U19e スポーツ選手権 2022 開催

本県のブランド力向上及び県内関連産業育成を図るため、19歳以下のチームによるeスポーツ大会「U19e スポーツ選手権」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催日：令和4年11月12～13日（オンラインで開催） 参加チーム：114チーム
決 勝	開催日：令和4年12月3日 場 所：Gメッセ群馬、展示ホール 動画視聴回数：17,000回（令和5年5月31日時点）

② 第2回全日本eスポーツ実況王決定戦

区 分	事業内容
予 選	開催日：令和4年10～11月（提出された実況動画を審査） 【一般部門】参加者：55名 【U15部門】参加者：5名
決 勝	開催日：令和4年12月4日 場 所：Gメッセ群馬、展示ホール 動画視聴回数：8,200回（令和5年5月31日時点）

③ 第2回群馬県企業等対抗社会人eスポーツリーグ（愛称：GUNMA LEAGUE）

社内コミュニケーションの活発化や趣味を通じた社外人材との交流促進、若者層への企業認知度向上を目的に、県内の企業対抗eスポーツ大会を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催日：令和5年2月15日、22日、24日 場 所：GUNMA eSPORTS

区 分	事業内容
	参加チーム：33 チーム（エントリー34 チーム）
決 勝	開催日：令和 5 年 3 月 18 日 場 所：イオンモール高崎 専門店街 1F イーストコート 参加チーム：8 チーム

④ 教育的 e スポーツの推進

コミュニケーション能力や戦略的思考の向上など、e スポーツの教育的効果を活用する「教育的 e スポーツ」を推進するため、県内の中高生向けに e スポーツ体験会を開催した。

開催日：令和 4 年 4 月～令和 5 年 2 月（全 10 回） 場 所：tsukurun、公民館、行政施設、高校等
--

⑤ e スポーツ関連産業・人材育成

e スポーツ関連産業の振興や人材育成の一環として、実際の e スポーツイベントの企画・運営を体験する就職氷河期世代向け就労支援研修を実施した。

区分	事業内容
e スポーツから学ぶ イベントマネジメント & 配信業務	開催日：令和 5 年 1～3 月（全 7 回） 場 所：群馬県産業技術センター、群馬県庁 32 階 NETSUGEN 一般参加者：5 名 県内事業者：15 名

⑥ 福祉分野（障がい者、高齢者）での活用

年齢・性別・身体能力等の差が少なく、誰でも参加しやすい e スポーツの特徴を活かし、県立特別支援学校や、障がい・高齢関係団体と連携の上、福祉分野での e スポーツ活用に取り組んだ。県立特別支援学校では、e スポーツ大会への出場に係る支援や、プロプレイヤーを講師とした講習会の開催支援も行った。また、障がい者 e スポーツ体験会の後援、シニア e スポーツ講座では講師派遣を行った。

ア 特別支援学校における e スポーツ活用

区 分	事業内容
あさひ特別支援学校	4 月～ 保健体育（週 2 回）、自立活動 2 時間（2 週に 1 回） 4 月～ 自立活動で実施（2 週間に 1 回程度） 7 月 常磐高校 e-sports club と交流戦を実施 12 月 桐生第一高校 e スポーツ部と交流戦を実施
二葉特別支援学校	4 月～ 保健体育（週 1 回）実施、寄宿舍での余暇活動 8 月 恒例行事の親子会にて、e スポーツ体験会を実施 10 月 プロプレイヤーを講師とした e スポーツ講習会を実施 11 月 U19e スポーツ選手権に出場
藤岡特別支援学校	11 月 JESPO e スポーツキャラバン（主催：（一社）日本 e スポーツ機構）を実施

イ 障害者 e スポーツ体験会

区 分	事業内容
障 害 者 向 け	日程・場所：令和 4 年 11 月 12 日・上毛新聞 T R 参 加 者：障がい者手帳を持つか、障がい者手帳を持つに 準じる方法等

ウ シニア e スポーツ講座

開催日：太田会場 ①令和4年6月10日、②令和4年12月8日 吉岡会場 ①令和4年9月13日、②令和4年10月4日
場 所：太田会場 ①太田市ボランティアセンター、②新田勤労会館 吉岡会場 ①・②吉岡町地域福祉交流施設（よしおか ROBAROBA）
参加者：県内在住おおむね 60 歳以上の方

(2) 新コンテンツ創出 決算額 41,588 千円

① デジタルクリエイティブ人材育成

中長期的視点に立ち、ぐんまのクリエイティブ拠点化を推進するため、本年3月に前橋駅前にオープンした、「tsukurun-GUNMA CREATIVE FACTORY-」の本格的な運用を開始し、自ら考え新しい領域で動き出す人材を輩出するため、新総合計画を踏まえた長期的視点に立ち、小中高生を対象としてクリエイティブ人材育成を行った。

ア 施設の概要

施設の概要
場 所：アクエル前橋2階 対象者：県内在住在学の小中高生 体験できる主な技術：3DCG、2DCG、ゲームエンジン、VR、VFX など

イ 令和4年度利用実績

令和4年度実績
年間利用者数：2,955人 イベント実施回数：141回 その他：XR-kaigi アワード受賞

② クリエーターネットワークの構築

群馬県在住・出身のクリエイターを紹介するインタビュー番組「GUNMA CREATOR'S VISION」をYouTubeで配信した。

区分	事業内容
インタビュー番組の配信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配信回数：7回 ・ ジャンル：web サービスクリエイター、脚本家など ・ 総再生回数：6,093回（令和5年3月31日時点）

③ クリエイティブ産業の集積

クリエイティブ関連業移転促進に向けた企業ニーズ調査及び現状分析調査を実施した。

区分	事業内容
アンケート調査及びヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査対象企業：1,020社 ・ 回答件数：509社 ・ ヒアリング調査：6社

(3) ロケ誘致推進 決算額 49,700 千円

① ぐんまフィルムコミッションによるロケ誘致

ぐんまフィルムコミッションを総合窓口として、県内のフィルムコミッション・市町村との連携し、映画・ドラマ等の撮影支援を実施した。

区 分	件数
映 画 ・ ド ラ マ の 支 援 等	・相談件数：370 件 ・支援件数：48

② 県内ロケ地等開拓

県内ロケ受入体制拡充のため、撮影に活用できるロケ地やロケ弁・機材レンタル等で撮影を支援する事業者の開拓・ホームページの掲載を実施した。

区分	事業内容
県内ロケ地等開拓	・ロケ地：16 件 ・撮影を支援する事業者：4 社

③ 情報発信

ぐんまフィルムコミッションの専用サイト・SNS を活用し、撮影を支援した作品のロケ地等をPRした。

区分	件数
ぐんまフィルムコミッション専用サイト	ページビュー（閲覧数）：369,267 回 （期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）
Twitter	インプレッション数（閲覧された回数）：576,235 回 （期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで） フォロワー数：約1,500 人 （令和5年3月31日時点）

④ 制作会社向け県内ロケ地PR

県外在住の若手映像クリエイターが県内13地域で映画等の撮影に最適なロケ地を舞台に、ストーリー性のあるPV10本+総集編1本を制作し、公開した。

区分	事業内容
県内ロケ地PV制作	公開日：令和5年3月20日 公開件数：11 本 （地域フィルムコミッション編10本+総集編1本） 動画視聴回数：9,259 回 総集編/令和5年6月27日現在）

⑤ 知事トップセールス・招へい

クリエイティブ拠点化に向け、映像製作会社との関係を強化するため、知事によるトップセールス・招へいを実施した。

区分	事業内容
ト ッ プ セ ー ル ス	県内ロケ地での撮影による大型映像作品の誘致 令和4年4月20日 Netflix 合同会社 令和4年10月19日 東映株式会社
ト ッ プ 招 へ い	映画製作会社の経営者に対する県内ロケ地の案内 令和4年7月9～10日 Netflix 合同会社 令和4年7月19～20日 松竹株式会社

⑥ Gメッセ群馬撮影機能強化

Gメッセ群馬を核とした映像クリエイティブ拠点化を図るため、撮影機能の強化を図った。

区分	事業内容
グリーンバック整備	展示ホールに国内最大のグリーンバック撮影環境を整備
Gメッセ群馬プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・映像作品の監督やプロデューサー等がGメッセ群馬や高崎市内のロケ地を視察するツアーを開催 ・映像クリエイター向け web サイト「Vook」にツアーの状況を記事・動画で掲載
デジタル映像クリエイティブ拠点化推進調査・分析業務	映像作品の長期撮影をGメッセ群馬に誘致するための課題や必要な取組等の調査を実施